

令和6年度 社会福祉法人雄心会 事業計画書

令和6年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

《基本理念》

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

—実践要綱—

1 良質な福祉サービス

- ・利用者・ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し、常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

2 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う、幅広い福祉サービスを提供する。

3 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し、温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

4 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

《法人全体の事業計画》

令和4年4月以降、北斗拠点、江差拠点及びせたな拠点の5施設において介護保険事業を中心に基本理念及び実施要綱に則った運営をしています。

さらに、SDGsに賛同し、持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組むため、令和6年2月に「サステナビリティ経営方針」を策定、地域住民、ご利用者様及び職員などすべての関係者にとって価値ある法人となることを目指しています。

この方針では、

1 生活を豊かにする介護サービスの提供

- ① 地域密着型介護サービスの実践
- ② 安心安全な介護サービスの提供

2 多様性と働きがいのある職場づくり

- ① 介護人材の積極採用
- ② 人材育成の強化
- ③ 働き方改革の推進

3 環境に配慮した経営の実践

- ① 気候変動の対応
- ② 廃棄物の削減

4 経営体制の強化

- ① 経営管理体制の構築
- ② BCPの策定

を重要課題、取組内容として位置づけ、それぞれに目標を掲げています。

目標の達成に向けては、令和3年度から継続している「魅力ある法人づくりのための3本柱」

- 1 現在の業務を適正なものにするための「業務改善プロジェクト」
- 2 皆が働きやすい環境、待遇を考えるための「環境・待遇改善プロジェクト」
- 3 介護の知識、技術と共に人として成長していくための「人材育成プロジェクト」

を推進体制とするなど次のとおり組織的に取り組みます。

○業務改善プロジェクトチームを全拠点に組織し、職員主導により業務効率化を推進しつつ導入したICT機器の有効的な活用方法を確立します。

また、さらなる時間外労働の削減、有給休暇取得率の増加を目指し働き方改革に対応できるような業務の効率化を推進します。

○環境・待遇改善プロジェクトを立ち上げ、外国人を含む介護人材の積極採用、外国人介護人材の宗教的な働きやすさの確保を目指した礼拝スペースを設置するなどの就労環境整備を推進します。

○人材育成プロジェクトを立ち上げ、人材育成の強化を推進します。

○地域の介護人材の発掘を目的として介護職員初任者研修を実施します。

○Co2の削減や環境配慮のため、紙の使用量を削減し、再生エネルギーを導入します。

このような取り組みにより、「働き方改革」に沿った職員のワークライフバランスの充実、働く皆さんが楽しく社会貢献意義を持てるより働きやすい環境とするように、利用者様には質の高いケアを届け、よりよく生きようという意欲を持っていただく、人生はまだ楽しいと思っただくように尽力します。

《介護老人保健施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年より新型コロナウイルス感染症の感染症分類が第5類に変更となり、施設内外においての感染症対応も変化したが、高齢者を対象とする当施設の介護ケアについては従業員の就業中のマスク着用徹底や手洗い消毒と体調管理。利用者において体調管理はもとより、発熱時の初期対応においては感染隔離を初動にコロナ感染症対策を講じ、感染も拡大防止が図れるよう努めてきました。

また、ここ数年感染症対策から休止していた利用者のご家族の対面面会を一部制限設けながら再開を行い、利用者や家族の笑顔や喜びの声が聞かれていました。地域貢献活動も再開し、居住系施設の高齢者を対象にリハビリスタッフ派遣した出張リハビリの開始、地域の介護事業所へリハビリ連携による研修会を開催するなど、少しずつではあるが通常の施設サービスへ戻りつつある一年でした。

稼働においては、インフルエンザとコロナウイルスの感染から集団感染となり、感染収束を重点に対応し、協力医療機関と連携を図ることで罹患者を重症化させることなく、収束を向えたがこの間は稼働が低迷し、稼働回復にも時間を要しました。

通所部門では、利用者のコロナ感染症意識は感染分類が変更になっても大きく変わらず、地域での感染症流行が話題になると利用控えが顕著に現れ、稼働に影響してきました。事業所でのサービス提供も屋外での活動を重視した通所リハビリテーションを重点に提供し、利用者からの反響も少しずつではあるが、見られてきている現状にあります。

自宅から積極的に外出できない方のリハビリテーションニーズに応え、10月より訪問リハビリテーションを開始。外出困難者や感染症を懸念し自宅からの外出を控え廃用性症候群の予防におけるリハビリテーションを提供しています。事業開始より緩やかであるが利用者も増えてきています。

介護人材の確保において、外国人技能実習生は毎年採用し、4期目を迎えました。既存職員との相互関係も理解共存が深まってきています。双方で共存できるケアサービス提供を志し、相乗効果をもたらしていた。3年経過した技能実習1期生は特定技能へ移行し、この先も当施設で就業を継続する予定であることから、外国人においても働きやすい就業環境が整備できていることを捉えています。

従業員全体においては、これまで進めてきた業務改善プロジェクトにおける業務改善意識が職員全体に浸透してきたことを振り返り、今後はプロジェクトを施設内で細分化し、積極的なICT活用など、よりきめ細やかな業務において働きやすい環境整備へと改善できるよう進めていきます。拠点業務改善プロジェクトを立ち上げ、入所・在宅のコアチームを形成し業務改善に尽力してまいります。

2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。

7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント委員会 事故防止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	身体拘束廃止・虐待防止の体制確保について協議・啓発活動
褥瘡委員会	随時	褥瘡発生予防への取り組み
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。
業務改善委員会（新設）	月1回	利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討する。

《複合型施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

新型コロナウイルス感染症が5類と変更され、油断ならない状況ではありますが、新しい生活様式として、感染対策をしながら施設内での対面面会や外出行事、ユニット内でレクリエーション活動を実施しております。今後も日頃より利用者様及び職員の感染予防対策に努めるとともに、利用者様が安心して生活が送られるように支援してまいります。

また、業務改善プロジェクトによる業務の見える化、介護ロボットの導入、ICTの活用を実施し、職員への負担の軽減や効率的に業務が改善されております。今後も業務の見える化を進めていくとともに、振り返り評価をし、働き方改革の推進に努めてまいります。

福祉サービスを通じて関わる全ての方が満足していただける施設作りの推進や事業継続計画をもとに緊急事態を想定した訓練の実施、マニュアルの見直しを行い、発生しても事業を途切れさせずに継続していける強い施設運営を目指してまいります。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき活動の拡大や気分転換を図る。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換、他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫する。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出ドライブ（名所めぐり） ・ セタ祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光名所等に出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ・ 日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流しソーメン ・ いなほ祭りや地域のお祭り参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節を感じて頂き気分転換を図る。 ・ 様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慶祝会 ・ 外出ドライブ（お買い物） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ・ 季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果物狩り（サクランボ、プルーン等） ・ 紅葉見学ドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ・ 紅葉見学から季節の変化を感じる。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ、交流や気分転換を図る。

4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

《養護老人ホームひのきの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度、新型コロナウイルスの感染症分類が5月8日より「2類相当」から「5類」へ移行となり、感染防止対策を重視したルールを基に、窓越し面会から面談室での面会、入所者の外泊許可の再開を行いながら、徐々に日々の活動の変化を作っておりました。この間にも施設内コロナ感染を認め、都度、ゾーニング対応による感染拡大対策と緩和措置の中止を繰り返し、感染防止対策を重視した対応内での緩和のみに留まっていたところにあります。

このことから、今年度は新型コロナウイルスをはじめインフルエンザ等の感染症に関しての正しい知識と日常生活の活動性拡大における感染リスク、感染発症時の対応など職員をはじめ入所者及び家族、関係機関など適切な理解をいただき、面会や外出・外泊の制限の緩和を図り、入所者等が適切なルールの中で制限のない日常生活を目指します。また通所事業においても、同様に利用者をはじめ家族、関係機関などと共通認識を持ち、屋内外を通じ活動豊かなサービスが提供を図っていきます。

入所サービスについては、一昨年度介護ロボット等導入支援事業を活用し見守り機器を導入、環境整備を行い、導入後より有効ある機器の活用を図っておりました。今年度も、より有効かつ効果が持てる機器の活用と導入に伴う業務改善を図り、介護サービスにおける「生産性向上」「サービスの質向上」「利用者の満足度向上」をより邁進し、よりよいサービスの提供を実施していきます。

全事業において、昨年同様、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築し、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、地域住民参加を含めた訓練（シミュレーション）の実施等、更に檜山地域の医療の基盤である「道立江差病院」との連携を強化し、安定した施設運営、地域支援を目指し取り組んでいきます。

2. 養 護：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	茶話会（各ユニット企画）	季節を感じるお茶菓子などを囲み、気軽に語り合える雰囲気を作り、交流を楽しむ。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	屋外レクリエーション 運動会	外出の機会や施設屋外周辺の散歩、近隣の商業施設への買い物、正面玄関の花壇整備など気分転換や余暇活動を楽しむ。 また健康増進を目的とし運動の機会を作る
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	外出ドライブ	外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を楽しんでいただく。

11月	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭への出展 調理レクリエーション (各ユニット企画) 地域幼稚園お遊戯会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化祭活動へ余暇活動で作成した作品を出展、見学会も含め地域活動への参加を図る。※施設内出展も含め 収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。 地域幼稚園児が来訪し交流を楽しむ
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	雛祭り	入所者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る

2. 通 所：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	壁画作り、手工芸	ご利用者とともに季節を感じる壁画作り、様々な余暇活動を提供し楽しんでいただく。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	屋外レクリエーション (屋外訓練や運動会の企画)	屋内外を通じ運動の機会、活動の機会を提供し健康増進を目的とした運動の機会を作る
7月	七夕祭り	短冊への願い事など、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加 ※養護入所者と合同	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	外出ドライブ	外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物等の計画を立案、楽しんでいただく。
11月	文化祭への出展	地域の文化祭活動へ余暇活動で作成した作品を出展、見学会も含め地域活動への参加を図る。 ※施設内出展も含め
12月	クリスマス会	サンタからのプレゼントや催し物を企画、季節行事を楽しんでいただく。

1月	新年会	催し物(余興や食事など)を企画し、新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	雛祭り	日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	地域との連携・日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント事故防止委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 ・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。
褥瘡委員会	年2回	皮膚トラブルへの要因と分析、再発防止など褥瘡予防を図る
業務改善委員会	月1回	業務内容が見える化、有効かつ効率的な業務体制を構築しながら、より良いサービスの提供が行うべく検討を図る。

《特別養護老人ホームきたひやま荘・地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘の事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行になりましたが、依然として気を許すことができず、面会などの制限も含め利用者やご家族のみなさんには不自由をおかけしている日々が続いております。

そうした状況下ではありますが、今まで通り地域に根付いた社会福祉施設としての役割を全うすることを目的に地域に愛される施設として、利用者や地域の声や要望を真摯に受け止め満足度を追求し、地域との交流を深めながらこの地域に親しまれる施設を目指し、利用者の安心、安全、快適な生活を最大限に心がけた運営に取り組んでまいります。

また、業務改善プロジェクトによるIT化を進め、人材育成の強化、働き方改革の推進等に努め、SDGsに賛同した持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みをしてまいります。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	運動会（ゲーム大会）	健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。
8月	納涼祭	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	紅葉ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	レクリエーション	リハビリを兼ねたゲーム等で楽しいひと時を過ごす。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	カルタやゲームなどで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	ひな祭り	日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ気分転換を図る。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会 (研修委員会)	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
感染対策委員会 (感染症対策委員会)	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会 (事故発生防止委員会)	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。